

科目名		在宅医療概論	
科目番号	A-3	開設大学名	長崎国際大学
開講場所	長崎国際大学	教養・専門の別	教 養
		単 位 数	2単位
開講期間	平成30年4月21日(土)～ ～平成30年6月9日(土)	曜 日	土曜日
		時 限	1時限目・2時限目・3時限目
開講時間	毎週土曜日の9時～14時30分を予定していますが、 開講日によっては時間が異なることがあります。 開設大学に問い合わせして下さい。	授業定員	240人(うち単位互換定員240人)
		履修年次	1年次以上
		選考方法	書類選考
実習費等	なし	試験・ 評価方法	出席・レポート等により総合評価
その他 特記事項	なし		
開講日	講 義 名	担 当 教 員	
① 4月21日	在宅医療に係わる多くの専門職と専門職連携の重要性	榊原隆三・(長崎国際大学薬学部) 大磯 茂	
② 4月21日	在宅医療における医師の役割	太田 一寿(長崎国際大学薬学部)	
③ 4月21日	在宅医療における薬剤師の役割	七嶋 和孝(ななしま薬局)	
④ 4月28日	在宅医療におけるケアマネージャーの役割	鷺峯 志保(まつお内科医院)	
⑤ 4月28日	在宅医療における歯科医師の役割	疊屋 文人(佐世保市歯科医師会)	
⑥ 4月28日	在宅医療における調剤と薬の知識	仮屋蘭博子(長崎国際大学薬学部)	
⑦ 5月12日	在宅医療における看護師の役割	越智 幸代(佐世保市医師会訪問看護ステーション)	
⑧ 5月12日	在宅医療における薬局薬剤師の役割	徳永 修(あんず薬局)	
⑨ 5月19日	在宅医療における管理栄養士の役割	林 俊介(長崎国際大学健康管理学部)	
⑩ 5月19日	在宅医療におけるPT,OT,STの役割	井手 伸二(長崎リハビリテーション病院)	
⑪ 6月 2日	在宅医療における認定看護師の役割	石橋 亜矢(長崎国際大学人間社会学部)	
⑫ 6月 2日	在宅医療における病院看護師の役割～病院から在宅への連携～	高田寿美子(重工記念長崎病院)	
⑬ 6月 9日	在宅医療における地域包括支援センターの役割	長塚 弘章(相浦地域包括支援センター)	
⑭ 6月 9日	在宅医療における地域連携室の役割	永田 敬博(佐世保共済病院)	
⑮ 6月 9日	在宅医療における行政のサポート	藤田 利枝(長崎県県央保健所)	
連絡先	長崎国際大学 教務課 TEL 0956-39-2020		
<p>(科目内容) 本講座は、長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、自治体、保健・医療・福祉系の職能団体とNPO法人が連携する「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」が開講する。講座の目的は、将来、在宅がん医療や緩和ケアを多職種協働で実践できる専門職の人材育成である。「在宅医療概論」では、在宅医療に必要な基礎知識を学ぶとともに、連携する専門職種役割と情報の共有について理解を深めるため各分野の専門家を招いたオムニバス形式の講義を行う。</p>			

学生の感想

- 高齢化社会が進むとこれからの日本社会がどうなっていくのかということや、医療を考える際に医療従事者がどれだけ重要になってくるかを学ぶことができました。在宅医療のシステムが上手く動くためには多くの関係者の努力と協力が必要不可欠だと思いました。(薬学生)
- 在宅医療における多職種との連携がいかに大切かが理解できました。(健康栄養学科)
- 在宅医療の必要性について改めて知ることができ、また、新しい知識も得ることができました。(社会福祉学生)
- 日本の高齢化が進む中での医療のあり方について知れた。観光も医療に携われることを知った。私も少しでも多く携わり高齢者の人の気分転換などになればいいなと思った。(国際観光学科)



科目名		地域の魅力を掘り起こす -2020年オリンピック・パラリンピックに向けて-	
科目番号	A-6	開設大学名	長崎国際大学
開講場所	サテライト佐世保会場 (アルカスSASEBO 3階会議室)	教養・専門の別	専門
		単位数	2単位
開講期間	平成30年9月21日(金)～ ～平成31年1月18日(金)	曜日	金曜日
		時限	6時限目
開講時間	19時00分～20時30分(90分) 「毎週金曜日」	授業定員	90人
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	11月23日(祝・金)・12月28日(金)・ 1月4日(金)を除く	試験・ 評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員	
① 9月21日	地域の魅力の掘り起こしとインバウンド拡大への方向性、授業の導入	板垣 朝之	人間社会学部 教授
② 9月28日	長崎県における観光の経済効果は、どのくらい？	城前 奈美	人間社会学部 准教授
③ 10月 5日	“B-1グランプリ”のねらい～地域の魅力発信における食文化の地域資源化～	小島 大輔	人間社会学部 講師
④ 10月12日	日本の温泉の魅力	池永 正人	人間社会学部 教授
⑤ 10月19日	宿泊者のニーズに対応したホテル・旅館の多様化	井上 英也	人間社会学部 准教授
⑥ 10月26日	観光における博物館活用法	落合 知子	人間社会学部 教授
⑦ 11月 2日	スポーツの新たな価値を拓く～スポーツを「する・みる・支える」そして「活かす」～	宮本 彩	人間社会学部 助教
⑧ 11月 9日	UNESCO世界文化遺産の本質とその課題・問題点	川上 直彦	人間社会学部 講師
⑨ 11月16日	「もてなしの心」とは	嶋内麻佐子	人間社会学部 教授
⑩ 11月30日	観光マーケティング	谷口佳菜子	人間社会学部 准教授
⑪ 12月 7日	異文化の香り漂う長崎県：NIU異文化理解研究室の取り組み	中野はるみ	人間社会学部 教授
⑫ 12月14日	佐世保湾と大村湾から見る長崎の再発見	原 哲弘	人間社会学部 准教授
⑬ 12月21日	地域からの情報発信	尾場 均	人間社会学部 准教授
⑭ 1月11日	スポーツの力と地域貢献	宮良 俊行	人間社会学部 准教授
⑮ 1月18日	離島の魅力を掘り起こす-対馬、壱岐、五島-	三浦 知子	人間社会学部 准教授

連絡先 長崎国際大学 教務課 TEL：0956-39-2020

（科目内容）2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックには、今国が進めている「観光立国」への歩みを更に具体化し強化する大きな契機になる事が求められています。またすでに長崎や佐世保はクルーズ港として多くのインバウンド観光客を迎えています。このような環境下、今私たちが住むこの長崎県の各地域では、地域の魅力をどの様に掘り起こし、発信すれば、より多くのお客様を迎え入れる事が出来るのでしょうか。またお客様をお迎えする事が地域の発展にどう貢献するのでしょうか。2年後を踏まえた現状を理解し、課題や具体的な対応策、私達が取るべき行動について学んでゆきます。

教員のコメント

オリンピック・パラリンピックを契機に、地元長崎・佐世保はどの様に変貌を遂げるのでしょうか。オリンピック・パラリンピック開催は大きなチャンスですが、開催以降も引き続き魅力ある地域としてアピールして行くには何が必要かを、この授業を通じて一緒に考えて行きましょう。

